

合が多いからである。私は常にこの方法により旅行中標本を作つてゐるが適當の厚さを有する特に自然の形を損ぜない氣持よき標本が出来上つてゐる。

この乾燥袋に麻の布地を選みた理由は風通しはよく、吸水少く、硬く、軽く、荷造りに便にして、價は廉しいからで、通常壹個貳拾五錢位で出来る。數十日に渉る旅行にはこの乾燥袋を壹口八枚の割に用意する。さきに朝鮮に來られたる、今は亡き人の E. H. WILSON 氏は第四圖に示す如き柵板を乾燥用に用ゐられてゐたが、この品物は荷造と運搬に荷容となり、長途の旅行には不適の品である。私はこれを研究室に持歸りたる標本の乾燥に利用してゐる。私の考案になる以上の方法は在來の因襲にとらはれ、植物の標本は必ず「ブリキ」の胴亂に收容し、壓搾板にかけて壓しつぶさなければ満足出来ない潔癖家にはすゝめ兼ねるが、滿蒙の大地を跋涉し、大に資料を蒐集せんとする勇敢なる若き學徒たちに切にその採用を希望するものである。

新 著 抄 録

故矢部吉禎氏：カハノリの有性生殖 (Y. YABE:—On the sexual Reproduction of *Prasiola japonica* YATAB. Sci. Rept. Tokyo Bunrika Daigaku, Sec. B. no. 3; 1932. p. p. 1—4, t. 1).

カハノリ (*Prasiola japonica*) は下野、上野、駿河、美濃、肥後等の河川の上流、清冽なる急流の岩上に生じ、長さ 10—20 cm. 以上にも達する、葉狀の綠藻にして、カハノリ科 (*Prasiolaceae*, 又は *Blastophoraceae*) の一科をなし唯カハノリ屬の一屬を以て成れり、世界に若干種ありて或ものは頗る多形的の性質を示す。

カハノリ科は綠藻の *Ulotrichales* 目中には *Thallus* が、うすい葉狀體をなし、色素體は星狀にして四個づゝ一群をなせる各細胞の中心部に位置すると游走子を生ぜざるを以て極て特色あるものなり。

本科のものは從來無性生殖の外知られざりしが、著者は日光大谷川産のカハノリに就き其有性生殖あるを明にせり、大谷川にては六月の終頃より該藻現れ十一月まで生育するが、長さ 10 cm. 位に達すれば生殖作用をはじめて漸次枯死し翌年の三月になれば一時皆其影を没するに到る。

即ちカハノリは雌雄兩性にして、*frond* を成す或る部分の各細胞は縦横に分裂して16個の *Macrogametes* を生じ、他の部分の細胞群は同く64個の *Microgametes* となる、兩 *Gametes* は勿論二本の等長の鞭毛を有す、接合子は長い間休眠して七月

に入り発芽するが著者は其2--4細胞時代まで見届けしのみなり。

近來の研究に據れば綠藻には三型あり、其一は Haplobiontic Haplont にして藻は唯 Haplont のみで Diplont は接合子之を代表するもので Volvocales, Stephanocontae, Acontae, Ulothrix zonata, Cole chaete の類之に屬し、其二は Haplobiontic Diplont で藻體は Diplont にして其 Gonotocont cell の減數分裂によりつゝ直に Gametes を生ずるものにて Cladophora glomerata, Acetabularia, Codium tomentosum 等之に屬す、其三は Diplobiont にして Haplont 世代と Diplont 世代と交互する世代の交番あるもので Chaetomorpha aerea, Ulva lactea, Dasycladus, Monostroma, Enteromorpha intestinalis, Cladophora Suhriana, Cladophora pelucida 等之に屬す、而てカハノリは其何型に屬するか此後の研究を要す。(G. KOIDZUMI).

岡村金太郎氏：太平洋に於る海藻分布 (K. OKAMURA :—The Distribution of Marine Algae in Pacific Waters, in Records of Oceanographic Works in Japan, Vol. IV. no. 1. June, 1932. pp. 30—150).

氏は太平洋を Japan, Bering Sea, America, Australia, Malay, China Sea, Polynesia の七區に分ち、太平洋産3794種の海藻分布を論ぜり。今各類が各區に分布する状を表示すれば

地 方	綠 藻 類	褐 藻 類	紅 藻 類	全 数
Japan	182	194	488	864
America	190	295	700	1185
China Sea	54	72	56	182
Polynesia	191	114	353	658
Malay	203	153	504	860
Bering Sea	24	45	61	130
Australia	185	345	1086	1616
全 数	559	818	2417	3794

第一。日本區 (The Japanese region)

南臺灣より北占守島に到る海岸及び東支那海、黃海、日本海、オコック海を包括し總計864種ありて其310種 (35.6%) は特有種であり、又特有屬は12屬ある。其中 Malay と共通するもの261種 (29.5%) Australia と共通するもの235種(27.1%)を最多となし、次は Polynesia の209種、印度洋の178種なり。

第二。支那海 (The China Sea region)

南支那海及びフィリッピン群島にして總計182種、内特有種は僅に12種なり、特有